

弘前大学 **食育** シンポジウム

# 見直そう! 青森の 食生活と農産物

—— 農場から食卓までの実践的総合教育をめざして ——

日時 2015年 1月25日(日曜日) 13時~15時30分

場所 弘前大学50周年記念会館(みちのくホール)

現在、全国的に若年・中年世代の朝食の欠食が問題にされています。青森県では、塩分のとりすぎや食べ過ぎ、偏食による肥満も問題になっています。健康な生活を送り、短命県を返すためにも、正しい食知識に基づく食生活の改善が必要です。また青森県は食料自給率が100%を超える農業県ですが、農業をとりまく情勢は厳しくなっています。市民一人一人が地元の農業の実情と役割を理解し、生産者と手を携えて農業を守り育てる必要があります。

本シンポジウムでは、青森県の食生活を改めて見つめ直すとともに、「農場から食卓までの実践的総合教育」という食育の原点に立ち返り、大学や地域における今後の食育活動のあり方を議論します。

13時05分~

講演

## 愛媛大学「食」教育の取組

— つくる、伝える、知る —

愛媛大学教育・学生支援機構講師 垣原 登志子 氏



13時45分~

講演

## 考えてみよう! 「食育の環」

青森県立保健大学健康科学部教授 吉池 信男 氏



14時40分~

パネルディスカッション

## これからの食育活動の役割

主催 弘前大学

後援 弘前市(申請中)

どなたでも参加できます。●参加費無料、事前予約はいりません。

別室で食育教材等の展示を併せて行います。



HIROSAKI  
UNIVERSITY

お問い合わせ先

弘前大学食育教育プログラム開発プロジェクト

弘前大学農学生命科学部附属 生物共生教育研究センター 藤崎農場 伊藤大雄

Email: daiyu@cc.hirosaki-u.ac.jp

Tel: 0172-75-3026

プログラム

弘前大学食育シンポジウム

# 見直そう! 青森の食生活と農産物

—— 農場から食卓までの実践的総合教育をめざして ——

日時 2015年(平成27年)1月25日(日曜日) 13時~15時30分

場所 弘前大学50周年記念会館(みちのくホール)

13:00 開会ならびに主催者挨拶

13:05 講演

## 愛媛大学「食」教育の取組 一つくる、伝える、知る一

愛媛大学教育・学生支援機構講師 垣原 登志子 氏

女子大教員、民間会社の商品開発部門や研究所勤務を経て現職。専門は食環境と環境保全。食育に関する様々な講義、実習を担当する一方で、Webを利用した学生の食生活指導にも力を注いでいます。

13:45 講演

## 考えてみよう! 「食育の環」

青森県立保健大学健康科学部教授 吉池 信男 氏

厚労省・農水省が2005年に発表した「食事バランスガイド」策定委員会で座長をつとめました。長年にわたり栄養管理面から生活習慣病対策を研究し、地域に情報発信を続けています。

14:25 休憩

14:40 パネルディスカッション

## これからの食育活動の役割

【パネリスト】 愛媛大学教育・学生支援機構講師 垣原 登志子 氏

青森県立保健大学健康科学部教授 吉池 信男 氏

青森中央短期大学食物栄養学科助教・あおもり食育コンシェルジュ  
森山 洋美 氏

弘前大学農学生命科学部准教授 石塚 哉史

【司会】 弘前大学農学生命科学部准教授 伊藤 大雄

大学・地域における食育活動の現状や問題点についてパネリストに報告して頂いた後、今後の食育活動に求められるものや、活動のあり方について議論します。

15:30 閉会

本学学生、食育関係者、市場関係者、農業生産者、一般市民の方など、どなたでも参加できます。

●参加費は無料、事前予約はいりません。 ●別室で食育教材等の展示を併せて行います。

【お問い合わせ先】 弘前大学食育教育プログラム開発プロジェクト

弘前大学農学生命科学部附属 生物共生教育研究センター 藤崎農場 伊藤大雄  
Email: daiyu@cc.hirosaki-u.ac.jp Tel: 0172-75-3026